

# 平成 23 年度第 1 回出雲市入札制度等監視委員会

## 議事概要

開催日及び場所	平成 23 年 5 月 31 日（火）15 時 00 分～17 時 00 分 出雲市役所 5 階 入札室	
委員	委員長 野村 泰弘（島根大学教授） 委員 河原 莊一郎（松江工業高等専門学校教授） 周藤 滋（弁護士） 三原 諤（出雲市自治会連合会副会長） 横田 笑子（税理士）	
審議対象期間	平成 22 年 10 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日	
報告事項	（1）入札方式別発注工事の状況について （2）指名停止の運用状況について （3）低入札価格調査制度の運用状況について （4）苦情処理の運用状況について （5）その他	
審議事項	抽出案件（3件）	備 考
	一般競争入札	抽出の考え方 （抽出担当 三原委員） ・入札方式の一般競争入札と指名競争入札の中から部局・担当課が重複しないことを配慮した。 ・その中から、金額の大きい工事に着目し、共同企業体が応札しているもの、落札率が 100%のもの、又落札率が最も低いもの 3 件を抽出した。
	指名競争入札	
1．出雲市大社水産物荷捌所建築工事		
	2．出雲市デジタル式防災行政無線（同報系）整備事業 佐田・多伎・湖陵・出雲南部地域設備工事（電気通信）	
	3．出雲ドーム LED 表示装置取替工事（電気通信）	
からの委員からの意見・質問、それに対する回答等	意見・質問	回 答
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見の具申または勧告の内容	なし	

【報告事項について】	
<b>( 2 ) 指名停止の運用状況について</b>	
意見・質問	回 答
<p>指名停止業者6社の中に市と契約を結んでいる業者はあるか。</p> <p>工事施工中に指名停止となった場合は、どういった処理をするか。業者が交代することがあるか。</p>	<p>市と契約している業者はいない。</p> <p>施工中の場合は、契約業者が最後まで施工する、交代はない。</p> <p>なお、新たな入札には参加できない。</p>
<b>( 3 ) 低入札価格調査制度の運用状況について</b>	
意見・質問	回 答
<p>数値的判断基準の項目の中で、直接経費が85%以上で、高い理由は何か。</p>	<p>直接経費は、工事の原材料費、作業員の賃金など重要な部分である。下請け等や、資材購入先に影響を与えない為に高くなっている。</p>
<b>( 5 ) その他</b>	
意見・質問	回 答
<p>報告様式6-1の解体A級が23・24年度から2つに分かれているのはなぜか。</p> <p>JVでは、構成会社の中で代表を決めるのか。</p> <p>契約は代表者が契約するのか。</p> <p>工事の責任は全体で取るのか。</p> <p>JVを組むには何か規定があるか。</p> <p>大手の会社がJVを組んで、他の中小業者が入れないことはないか。</p> <p>登録業者数が21・22年より23・24年が減った理由、落札率が下がってきた理由はあるか。</p> <p>大震災の影響があるか。</p> <p>総合評価方式で行なった工事が前期より、後期が少ない理由は何か。</p>	<p>解体工事の指名願を提出した業者のうち、とび・土工の許可がある業者と許可のない業者で分けている。</p> <p>構成会社の中で出資割合が多い業者が代表となる。</p> <p>契約書の押印は、構成会社全社で行なっている。</p> <p>全社に責任があり、その責任の割合は出資比率による。</p> <p>出雲市にJVの取扱要綱がある。</p> <p>そのようなことはない。</p> <p>業者数が減った理由は、廃業する業者が年間を通じてあるため。また、落札率が下がっている理由は、全体に競争が激しくなっていると思われる。</p> <p>県からは、特定の資材が極端に不足しているという情報はない。反面、販売店の話では入荷しない物資もあるという情報もある。</p> <p>総合評価方式は、金額的に大きな工事が対象となる、したがって工期も長くなり、前期へ発注が集中し、後期には発注が少ない。</p>

【審議事項について】	
1) 出雲市大社水産物荷捌所建築工事	
意見・質問	回答
<p>建設工事と設備工事が分けてあるが、一括発注は考えなかったのか。</p> <p>分離発注した場合、業者が決まった時点で工程を調整するのか、一括発注なら一体的にスムーズに行くのではないか。</p> <p>JVの場合系列会社の取り扱いはどうなるのか。</p>	<p>出雲市では、一定額以上の建設工事は、受注機会の確保の観点から、建築本体と設備を分離発注するルールとしている。</p> <p>一括発注の方が、連絡調整などうまく行くかもしれないが、公共工事であるので受注機会の確保の観点から分離発注とした。</p> <p>応札するJV間で、系列関係がある場合は無効となる。</p>
2) 出雲市デジタル式防災行政無線(同報系)整備事業 佐田・多伎・湖陵・出雲南部地域設備工事(電気通信)	
意見・質問	回答
<p>防災無線中継局舎と屋外拡声戸局の工事が、別発注の工事となっているが、市内の業者で可能だったのか。</p> <p>落札率が50.9%になった原因は、今後、追加発注される工事や保守業務が随意契約と予想されることからか。</p> <p>また、落札率の50.9%は、全国の他事例に比べて少し高いがどうか。</p> <p>今回の防災無線はデジタルであるが、数年先にはシステムが変わる見通しはあるか。</p> <p>今回の計画では、地域の何%くらいに受信機が行き渡るか。</p> <p>携帯電話などを利用した防災情報システムがあることを聞いているがいかか。</p> <p>本庁が親局であるが、親局が寸断されると機能しなくなるのか。また、バックアップはないのか。</p> <p>受益者負担はいくらになるか。</p> <p>設計書は誰が作ったのか。</p>	<p>防災無線中継局舎と屋外拡声戸局の建設工事であり、市内業者で施工可能であったので、別発注とした。</p> <p>今後、発注する工事や保守業務について、同一業者でないといけない事由があれば、随意契約となることもあり得る。業者が、そのことを見込み自己判断で落札率を下げたことも考えられるが、断言はできない。</p> <p>他事例の落札率の平均は、40%から70%となっているので、今回の落札率が高いとは思っていない。</p> <p>新しい方式に変更されるかどうかは推測できない。</p> <p>今回の計画では、地域の全世帯に設置する計画である。</p> <p>携帯電話での情報伝達の検討をしたが、会社によってシステムが違い、互換性がないので利用できない。</p> <p>親局の電源がすべて遮断されると発信が出来ない。また、バックアップはない。</p> <p>一世帯当たり5,000円である。</p> <p>実施設計は、専門業者に委託した。</p>

3) 出雲ドーム LED 表示装置取替工事 (電気通信)	
意見・質問	回 答
<p>修繕前の施設から LED を使っていたか、LED は長期間持つということだが壊れていなかったか。 メンテナンスはこの業者になるのか。</p> <p>落札率 100%となっているが、理由があるか。</p>	<p>前の施設も LED だった。耐用年数 10 年ぐらいと聞いている、実際には 20 年持った。今回、表示の機械部分が故障したため取替することとした。 メンテナンスは、当該業者とする予定である。</p> <p>落札率が 100%となった理由は分からない。</p> <p>ただし、高い落札率となった理由の可能性としては、本件工事は、LED 表示システム本体・入力システム装置・編集ソフト部分が工事費の大半を占める内容であり、元請業者だけの経営努力では安くできなかったのかもしれない。</p>